

豆一俵物語・・・反一俵の大豆の増収で会津を元気にしよう



だいでず通信 第4号 (通算 61号)

(令和4年10月14日発行)

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・JA会津よつば(あいづ地区)

福島県農業共済組合会津支所・JA全農福島県本部

福島県会津農林事務所農業振興普及部

国産大豆の需要が高まっています。大豆生産を拡大しましょう！

<東北地方1か月予報(仙台管区気象台 R.10.13 発表)>

・期間の前半は、天気は数日の周期で変わります。

【気温】



期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

【降水量】



・向こう1ヶ月は、気温は平年より高く降水量と日照時間は

【日照時間】



平年並みの予報です。

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

☆☆今後の管理のポイント☆☆

- すみやかに作業計画を立て、適期収穫に努めましょう。
- 大型雑草や青立ち株が発生しているほ場では、収穫前に抜き取りを行い、汚損粒発生防止に努めましょう。
- 試し刈りにより収穫ロスや土のかき込み状況などを確認して、最適な刈取りの高さで収穫作業を行いましょう。

収穫準備

1 排水対策

- ・ ほ場に水がたまらないように、排水溝や暗渠の最終点検を行いましょう。

2 雑草対策

- ・ 収穫時に水分の高い大型雑草(タデ類、アメリカセンダングサ等)が残っていると、大豆の「汚損粒」の原因となります。また、雑草の種子が落ちると、翌年以降の雑草の発生源となりますので、収穫前にできるだけ抜き取りましょう。

3 「青立ち株」の抜き取り・刈り分け

- ・ 成熟期を迎えても茎葉が青く、落葉していない「青立ち株」は、大豆の莢数や粒数に比べて養分の供給が多すぎた場合に、登熟のバランスが崩れて発生します。
- ・ 「青立ち株」が残っていると、大豆の「汚損粒」の原因となります。収穫前に、大型雑草の抜き取りと同様に、青立ち株も早めに抜き取りましょう。

※注意※

ベルコート水和剤の大豆の登録が削除されます。(10/26から)

登録削除後の使用はしないよう注意してください！！



収穫作業

1 収穫時の留意点

- ・成熟期は葉が完全に落葉し、茎や莢が品種固有の色に変化して莢を振るとカラカラと音がする時期です。(10月10日～20日頃)。
- ・コンバイン収穫は、成熟期から**10日後頃**を目安に開始しましょう(表1)(10月20日～30日頃)。
- ・収穫適期を迎えたら**早めに収穫**を開始しましょう。
- ・朝露により子実水分が高い朝方や、裂莢により収穫ロスが大きい夕方を避けて、**午前10時～午後4時**頃を目安に作業を行いましょう。
- ・収穫時の「土のかき込み」は異物混入、汚損粒の発生につながります。必ず試し刈りを行い、「土のかき込み」がなく、収穫ロスもなるべく少ない刈取りの高さを確認してから作業を行いましょう。

表1 コンバインでの収穫時期と大豆の子実・茎のようす

部位	水分	大豆の状態
子実	15～18%	振るとカラカラ音がする。子実は球形で、指の爪跡が少し残る程度のかたさ (※高水分では「つぶれ粒」や「損傷粒」、低水分では「割れ粒」が増加する)
茎	50%以下	褐色。茎のぬめりがなくなり、茎や分枝が軽くポキッと折れる状態。

「ダイズ黒根腐病」に注意してください！

「**ダイズ黒根腐病**」は土壌伝染性の病害であり、葉が黄色くなり早期に枯れ上がる症状があります。減収あるいは品質低下を引き起こす原因となるため注意が必要です。

ダイズ黒根腐れ病 発病の様子



(発生ほ場のようす (8月下旬))



(葉：退緑壞疽斑)



(根：主茎が黒く腐る)

発生株は抜き取りを行いましょう

[ダイズ黒根腐病が発生したほ場での次年度への対策]

- 排水性の向上・・・排水不良のほ場で発生が見られることから、弾丸暗渠等の**排水対策**を行う。
- 畝立て播種・・・高畝で播種することで、発病程度が軽減される。
- 登録農薬の使用・・・「クルーザーMAXX」(塗沫処理剤)、「シルバキュアフロアブル」(株元散布剤)など。

9月1日～10月31日は農作業安全運動重点推進期間です！！

コンバイン、トラクター等の農業機械を利用する機会が多くなります。農作業事故に十分注意して、安全に作業しましょう。

